

## 草津白根山

火山活動度レベル(平成18年8月)

### 1(静穏な火山活動)

概況(平成18年8月)

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

噴気の状態

逢ノ峰(湯釜の南約1km)に設置してある遠望カメラでは、湯釜火口縁を超える噴気は観測されませんでした。

地震及び微動の発生状況

火山性地震の発生回数は0~5回と少なく、静穏に経過しました(図2-)。火山性微動は観測されませんでした。

地殻変動の状況

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした(図2-、)。)



図1 草津白根山 山頂付近の状況(2006年8月2日南東上空から撮影)

この資料は気象庁のほか、東北大学、東京大学、京都大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も利用して作成しています。  
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

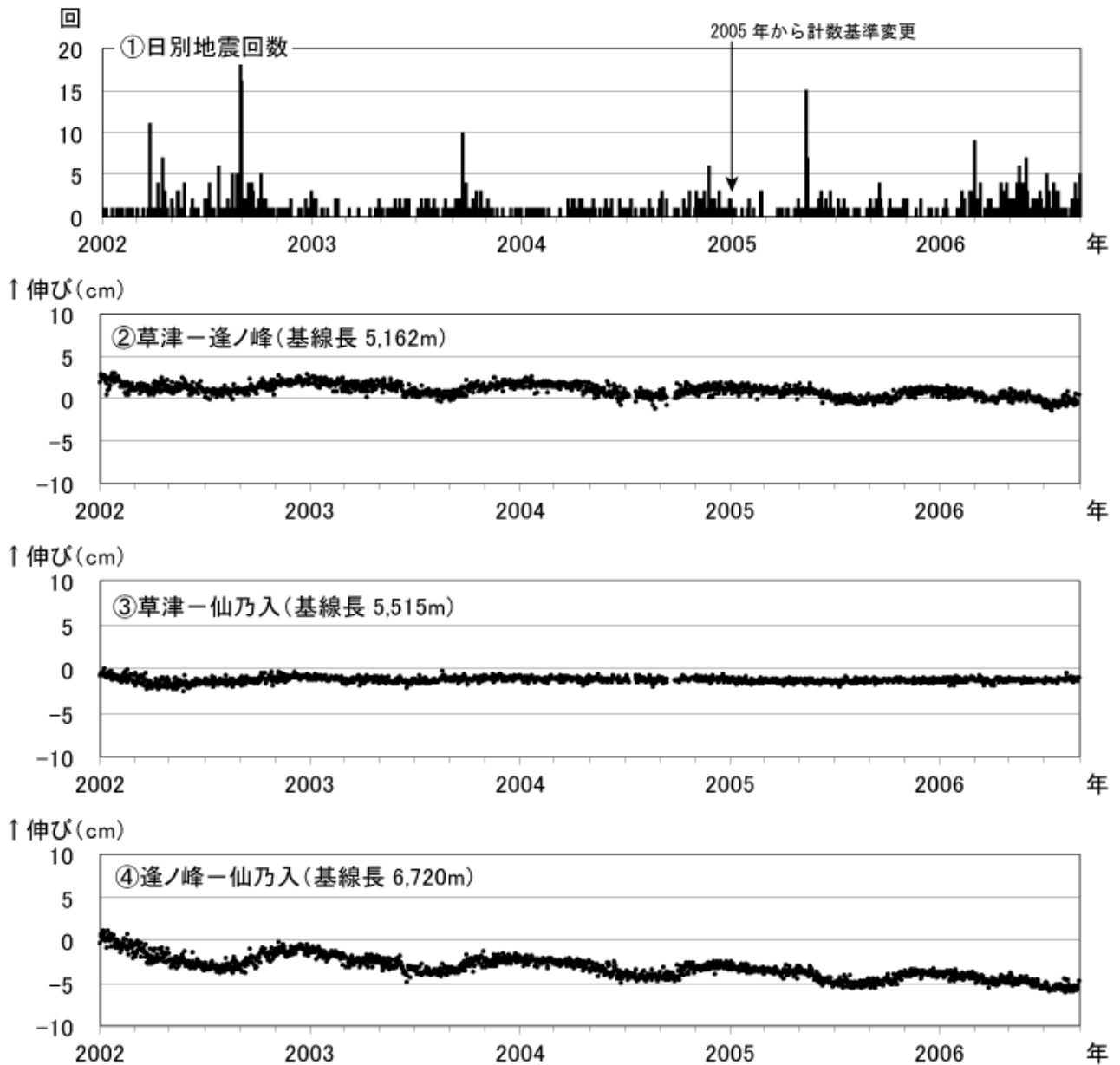


図 2 草津白根山 最近の火山活動の推移（2002 年 1 月～2006 年 8 月）

日別地震回数

計数基準：2004 年までは A 点振幅 0.05  $\mu\text{m}$  以上で S-P 時間 2 秒以内

2005 年以降は A 点振幅 0.1  $\text{mkine}$  以上で S-P 時間 2 秒以内

(ただし、2004 年 5 月 19 日に草津白根山の北西約 10km 付近に発生した構造性地震は除外しています。)

～ GPS 連続観測による基線長変化

基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。

観測点情報

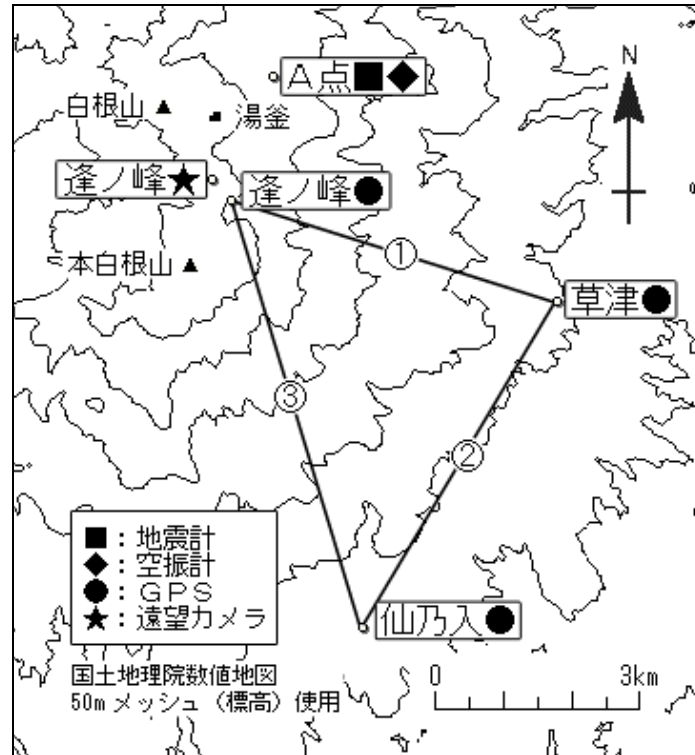


図3 草津白根山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）